

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
①	1 30点	(1)		技能表現	○方位は正しく一致していないが、地図記号で表された施設や土地利用を書いている。 ・北の方位に市役所が見えます。 ・南の方位に港が見えます。 ○方位と一致しない地図記号以外の施設や土地利用を書いている。 ・南の方位にスーパーマーケットが見えます。	2 1	○方位と、地図に示された施設や土地利用を正しく書いている。 ・北の方位に工場が見えます。 ・東の方位にお寺が見えます。 ・南の方位に田が見えます。 ※バスていやスーパーマーケットなどの記述も正解とする。 ※8方位図で示しているものも正解とする。 ・北西の方位にバスていが見えます。	3
②		(2)		知識理解	○神社と病院のどちらか一方が正解している。	4	○神社 戸, 病院 田 のどちらも正解している。	6
③		(3)		技能表現	○橋の場所を意識せずに川を南北にかいている。	3	○橋の場所を正確に把握して、右図のように川を南北にかいている。 	4
④		(4)		思考判断	○地図記号のよさについて書いている。 ・見やすくなる。 ・かんたんである。	3	○地図記号のよさについて、地図を見たりつくったりする立場から具体的に書いている。 ・共通の記号なので、だれが見ても分かりやすい。 ・地図をかんたんにかくことができる。	5
⑤		(5)		関心意欲態度	○工夫以外のことで、農家の人に質問を考えている。	2	○農家の人工夫について質問を考えている。 ※農家の人工夫とは、自然条件とのかかわり、施設や設備、仕事の進め方、生産物の販売、消費者への輸送	3
⑥		(6)	①	技能表現	○40人とは一致しないが、35人から45人の間にグラフをかいている。	3	○40人と一致する場所にグラフをかいている。	4
⑦		(6)	②	技能表現	○地図にかかれた施設から買い物や通勤に着目して理由を書いている。 ・夕方にスーパーで買い物をする人が多いから。 ・会社に行く人が朝や夕方にバスを使うから。 ○通勤・通学などに着目して理由を書いている。 ・朝や夕方は仕事に行く人や帰る人が多いから。 ・学校に行く人が多いから。 ○地図にかかれた施設に着目して理由を書いている。 ・バスていの近くにスーパーがあるから。 ・バスていの近くに会社が集まっているから。	4 3	○地図にかかれた施設と、他地域とのつながりを意図してバス利用の理由を書いている。 ・朝や夕方に他の町からも、買い物や仕事(工場、会社)に通うためにバスを利用するから。	5
⑧	2 24点	(1)	①	思考判断	○ごみの分別について理解して答えている。 ・ごみ収集の時に、集めやすいようにするため。	3	○資源の有効活用の必要性和ともに、ごみ減量の必要性を答えている。 ・ごみを減らし、ごみ処理の費用を減らすため。 ・ごみを減らし、資源を節約するため。 ・リサイクルをして、ごみを減らすため。	5
⑨		(1)	②	思考判断	○ごみ収集の人の「こまっていること」を書いているが、ごみの収集とは関係の薄いことについて答えている。 ・危険な仕事だ。 ・ごみを集めるのはきつい。	3	○ごみの収集について、「こまっていること」を答えている。(地域の実態に即して) ・ごみをきちんと分別せずに出す人がいる。 ・ごみを出す日や時間を守らない人がいる。 ・ごみを決められた場所に出さない人がいる。	5
⑩		(2)		技能表現	○気をつけることは正しく書いていないが、月曜日を書いている。 ○曜日は間違っているが、気をつけることをちらしの文言から書いている。	3	○毎月第一月曜日を書き、気をつけることをちらしの文言から読み取って書いている。 ※月曜日の解答も可。 ※地域の実態に応じて、ちらしの文言以外のことも可。 ・マナーを守って出す。 ・決められた時間までに出す。 ・していぶくろに入れて出す。	4
⑪		(3)	①	技能表現			○グラフの変化を読み取り、ごみの量の減少について書いている。 ・1人が1日に出すごみの量は減少している。	3

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
⑫			②	技能表現			○グラフの変化を読み取り、リサイクル量の増加について書いている。 ・熊本県のリサイクル量は増えている。	3
⑬			③	関心意欲態度	○ごみを減らすことについて書いてあるが、その方法を具体的に書いていない。または、児童が行うには無理なことを書いている。 ・ごみをへらす。 ・リサイクルする。 ・ごみ出しのきまりをまもる。 ・ごみを出さない。	3	○自分にできることを、具体的に書いている。 ・ごみの分別をきちんとする。 ・必要のない包装はことわる。 ・マイバッグをもっていき、ごみを減らす。 ・資源になるごみは、きちんと分別しリサイクルする。 ・生ごみはコンポストを利用して肥料にする。 ・リサイクル製品のマークのついたものを使うようにする。 ・使い捨ての製品は使わない。	4
⑭	26点	(1)		知識理解			○地下、川、ダム等、各学校で学習した場所を書いている。	3
⑮		(2)		技能表現	○浄水（消毒）施設、配水池など授業で学習した施設などをすべて書いているが、順番が正しくない。 ○授業で学習した施設など、半数以上を書いている。	3 2	○浄水（消毒）施設、配水池など、授業で学習したすべての施設などを正しい順番で書いている。	5
⑯		(3)		知識理解	○3つが正解している。 ○2つが正解している。 ○1つが正解している。	3 2 1	○①ーア ②ーエ ③ーイ ④ーウのすべてが正解している。	4
⑰		(4)	①	技能表現	○一方のグラフを利用して気付いたことを書いている。 ・熊本県は、生活の中で地下水を多く使っている。 ・全国は、川やみずうみの水を使うことが多い。	3	○2つのグラフを比較して書いている。 ・熊本県は、全国に比べて生活の中で地下水を多く使っている。	5
⑱			②	関心意欲態度	○取組の具体例を書いていない。または実践するには無理があるものを書いている。 ・水のむだづかいをしない。 ・水を使わない日を決める。	3	○自分にできることを例をあげて書いている。 ・歯みがきの時は水を流しっぱなしにしない。 ・水を使うとき、蛇口をこまめにしめる。 ・節水コマを使う。	4
⑲			③	思考判断	○森林の働きと地下水の涵養を大まかに結びつけて書いている。 ・森林が増えると、地下水が増えるから。	3	○森林の働きと地下水の涵養の様子を具体的に結びつけて書いている。 ・森林は雨水をたくわえ、少しずつ土の中に水をしみこませ、地下水をつくるから。	5
⑳	20点	(1)		技能表現			・交通かんせいセンター ・消ぼうしょ ・交番 ・けいさつしょ ・パトカー	4
㉑		(2)	①	知識理解			○事故現場について時の仕事の警察署の人の仕事について書いている。 ・交通整理をして、道路の安全を確保します。 ・事故の原因を調べます。 ・事故にあった車を道路のはしに動かします。 ・けが人救助の手伝いをします。	3
㉒			②	知識理解			○交通事故を減らすための警察署の人の仕事について書いている。 ・駐車違反やスピード違反の取り締まりをする。 ・交通安全教室を開く。 ・交通整理を行う。 ・交通管制センターで道路の混雑の情報を伝える。 ・市（町・村）と相談して信号機や横断歩道などを設置する。	3
㉓			③	思考判断	○消防署の記述はないが、事故が起きたときの役割を意図して書いている。 ・けが人を救急車で運んでくださいと連らくします。 ○連絡する場所だけを書いている。 ・消ぼうしょに連らくします。	3 2	○事故が起きた時の他の機関との協力を意図して、具体的に書いている。 ・消防署に、けが人がいるので救急車で病院に運んでくださいと連らくします。	5
㉔		(3)		思考判断	○事故防止の視点として、人的な工夫を書いている。 2を選択して ・交通整理をする。 3を選択して ・スピード違反の取り締まりをする。	3	○事故防止の視点として、適切な施設づくりを書いている。 2を選択して ・横断歩道をつくる。 ・歩道橋をつくる。 ・信号機をとりつける。 3を選択して ・ガードレールをとりつける。 ・道路標識をたてる。 ・道路に出っ張り（ハンプ）をつくる。	5